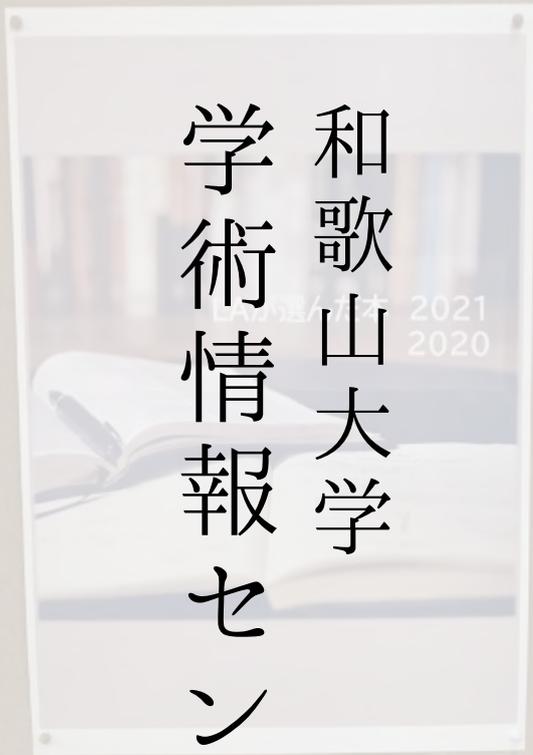


和歌山大学
学術情報センター
図書館年報



2021/2022

目次

TOPICS

「和歌山大学オープンアクセス方針」を制定	1
図書館を知るクイズ「和図図書館ビギナーズ」を公開	1
「スカベンジャーハント」を初開催	1
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応等について	2
1. 知の共有：蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有	
(1) 教育研究成果の発信、オープン化と保存	3
(2) 図書館資料の整備と利用のための保存	3
(3) 知識や情報の発見可能性の向上	3
2. 知の創出：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供	
(1) 知を創出する場の拡大・整備・提供	4
(2) 社会に開かれた知の創出・共有空間の提供	4
3. 知の媒介：知の交流を促す＜人材＞の構築	
(1) 多様な人材との協働	6
(2) 国立大学図書館職員の能力向上	8
4. その他の活動	
(1) 学修支援	9
(2) 古本募金	9
(3) 除籍図書のリユース	9
統計	10

TOPICS

「和歌山大学オープンアクセス方針」を制定

本学において生産された研究成果を広く学内外に公開することにより、学術研究のさらなる発展に寄与すること、その成果を社会に還元することを目的として、2021年11月12日に「和歌山大学オープンアクセス方針」を制定しました。

https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00244251/oa_policy.pdf

図書館を知るクイズ「和図図書館ビギナーズ」を公開

図書館職員が館内を案内する「新入生図書館ツアー」に代えて、新たにゲーム感覚で取り組めるガイドランスを作成、公開しました。

和図図書館ビギナーズ（入館編）



和図図書館ビギナーズ（レポート準備編）



<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/news/2021032900036/>

両方をクリアした学生（1.2年生のみ）のうち、抽選で30名に好きな焼き立てパン2つをプレゼントしました（協賛：ニューヤマザキデイリーストア 和歌山大学店）。

- ・期間：4月1日（木）～5月21日（金）※臨時休館のため6月30日（水）まで延長
- ・参加：入館編 370人（うち学生番号記載 271人）、レポート準備編 369人（255人）

「スカベンジャーハント」を初開催

グループで図書館内を探索しながらクイズに答えるゲームイベントを開催しました。



<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/news/2021040200074/>

全問正解者のうち抽選で30名に図書館1階コンビニで使える金券500円をプレゼントしました（協賛：ニューヤマザキデイリーストア和歌山大学店）

- ・期間：4月12日（月）～5月21日（金）※臨時休館のため6月30日（水）まで延長
- ・参加：18グループ（44人）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う対応について

	開館時間	入館	施設利用	
4/1～4/23	短縮 (-19:00) 第1土曜のみ	○	2階自習室×	
4/26～6/18	臨時休館 (大学の学生登学禁止による)	×		教職員への貸出等サービスは事前申込により受付
4/26～6/11	学生向け郵送貸出サービスを実施①			
6/21～8/11	短縮 (-19:00) 第1土曜のみ	○	2階自習室×	
7/12～8/10	4年生・院生向け郵送貸出サービスを実施②			
8/12～9/30	平日通常 第1土曜のみ	許可された学生○ 学外者は×		卒論・修論・博論を作成するため、および研究上必要があり、登学を許可された方、または集中講義受講者で図書館利用の必要がある方
10/1～	通常開館	○	2階自習室×	
10/5～10/12	和歌山市断水のため臨時休館			
10/13	短縮 (-17:00)	○	2階自習室×	
10/14～	通常開館	○	2階自習室×	
2/15～3/6	通常開館	許可された学生○ 学外者は×	2階自習室×	登学を許可された方

- ・ 郵送貸出① (1人1回10冊まで。送料は大学負担) 実績：申込131件、貸出冊数611冊
- ・ 郵送貸出② (1人2回10冊まで。送料は大学負担) 実績：申込6件、貸出冊数33冊
- ・ ラーニング・アドバイザーのメール・オンライン相談対応：(メール3件)
- ・ 学生向け講習会の対応：オンライン7件、対面5件、講習会資料をLMSに新規公開10件
- ・ 職員の勤務体制 (4/26～6/18)：
在宅勤務及び特別休暇取得により出勤人数を減らすよう調整



1. 知の共有：〈蔵書〉を超えた知識や情報の共有

(1) 教育成果の発信、オープン化と保存

オープンアクセスウィークにあわせ、学内向け研修会を開催しました。

【オンライン講演会「オープンアクセス・学術情報流通の動向」】

講師：佐藤翔氏（同志社大学免許資格課程センター准教授）

日時：10月29日（金）12：45-14：30

・リポジトリの登録件数：2017年3月末2,717件、2018年3月末3,033件、
2019年3月末3,433件、2020年3月末3,766件、2021年3月末4,081件、
2022年3月末4,483件

・デジタルオブジェクト識別子（DOI）付与を継続（2016.10～）



(2) 図書館資料の整備と利用のための保存

「図書館資料収集方針」「図書館学生用図書選定基準」「学生用図書整備5ヵ年計画（2017-2021）」に基づき、学生用図書の整備を進めるとともに、電子書籍（和書）も拡充しています。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/lib/about/policy.html>

・電子書籍購入件数：2018（平成30）年度47点、2019（令和元）年度44点、2020（令和2）年度360点、2021（令和3）年度385点

■ 大学史資料室

図書館に大学史資料室を設置し（2018.10）、これまでに収集・整理した本学の歴史に関する資料の目録等を順次整理するとともに、他機関やOBから寄せられる質問にも対応しています（例：師範学校の卒業生について等）。

大学史資料室の事業

1. 資料の収集、整理及び保存に関する業務
2. 資料の利用、展示及び公開に関する業務
3. 資料のアーカイブ構築に関する業務
4. 資料の調査研究に関する業務
5. 記念誌の刊行に関する業務
6. その他資料室の目的を達成するために必要な業務

(3) 知識や情報の発見可能性の向上

2018年より学認によるリモートアクセス環境を順次整備し、2022年3月末までに、全17件の電子リソースサービス（プラットフォーム）の学外利用を可能にしています。

2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供

(1) 知を創出する場の拡大・整備・提供

学修支援環境の改善を目的として、2019年10月にセミナールーム4、2020年4月にセミナールーム5、2022年3月にセミナールーム6を新設しました。

(2) 社会・地域に開かれた知の創出空間の提供

■ 和歌山地域図書館協議会

図書館事業の充実と生涯学習の発展に寄与することを目的として、和歌山県内の大学、短期大学、高等専門学校の図書館及び和歌山県立図書館をもって、和歌山地域図書館協議会を組織しています。

◇令和3年度（第27回会議）

日時：3月22日（火）～3月28日（月）

議題：フォーラムの開催・企画展示について、次回当番館について

◇催し【令和3年度 和歌山地域図書館協議会フォーラム ※オンライン開催

日時：2月7日（月）17：30-18：30

講師：遠藤 史（和歌山大学学術情報センター図書館長） 参加：26人

テーマ：モーツァルトの晩年様式について－新たな展開と失われた可能性－

◆展示：テーマに合わせ、各館で関連図書を展示



和歌山大学図書館



和歌山信愛女子短期大学図書館



和歌山工業高等専門学校図書館



和歌山県立図書館



近畿大学生物理工学部図書館

■ 図書館フォーラムの開催

これまでの和歌山大学の取り組みを振り返るとともに、図書館間連携にかかわる様々な立場から現状をご報告いただきました（参加 25 人）。フォーラム終了後に、『和歌山県内における図書館の連携—和歌山大学図書館の取り組み—』を作成・公開しました。

https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00248532/repo_001.pdf

日時 令和 3 年 12 月 9 日（木）

講演「館種を超えた図書館の連携—海外の事例と和歌山での実践」

渡部幹雄氏（和歌山大学名誉教授・元和歌山大学図書館長）

報告「和歌山県高等学校学校図書館研究会学校司書部会の歩み」

西座裕美氏（和歌山県立熊野高等学校学校司書）

報告「和歌山地域図書館協議会の取り組み—共同展示を中心に」

木下浩良氏（元高野山大学総合学術機構課長）

報告「県立図書館の市町村支援」

足立有希子氏（和歌山県立図書館司書）



■ 県内図書館等の支援

12 月 8 日（水）16：00-17：00

九度山町 & 和歌山大学図書館 オンライン研修会

テーマ：学校図書館と子どもの読書、くどやま森の童話館等について

講師：渡部幹雄氏（元和歌山大学図書館長）



12 月 9 日（木）16：00-17：00 那智勝浦町 & 和歌山大学図書館 研修会

テーマ：学校図書館と子どもの読書について

助言者：渡部幹雄氏（元和歌山大学図書館長）

3. 知の媒介：知の交流を促す〈人材〉の構築

(1) 多様な人材との協働

■ ラーニング・アドバイザー (LA)

大学院生スタッフによる学習相談を引き続き実施しました (2015.10～)。2021年 (令和3年度) は、5人のスタッフにより対応しました。メール相談を併用しながら、開館中はラーニング・コモンズでの相談対応を継続しました。引き続きパスファインダーの作成に取り組み、6件を新たに公開しました。

◇相談対応

実施期間：2021年4月～2022年2月

スタッフ：5名

経済学研究科 1人 (M1)

システム工学研究科 3人 (M1：2人、M2：1人)

観光学研究科 1人 (M1)



	4月	5月	6月	7月	8月	前期計	10月	11月	12月	1月	2月	後期計	合計
レポートの書き方	0	0	2	0	0	2	2	0	0	1	0	3	5
資料の探し方	2	0	0	2	0	4	0	0	1	0	0	1	5
館内資料の場所案内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PCやプリンタの操作方法	0	0	5	23	6	34	14	23	6	12	2	57	91
学習上の問題	0	1	0	3	0	4	3	3	3	4	0	13	17
その他	1	0	1	0	0	2	1	3	4	1	0	9	11
合計	3件	1件	8件	28件	6件	46件	20件	29件	14件	18件	2件	83件	129件
メール対応	0	1	1	1	0	3件	1	0	0	1	1	3件	6件
オンライン対応	0	0	0	0	0	0件	-	-	-	-	-	0件	0件
相談人数	3人	1人	8人	27人	6人	45人	20人	29人	17人	20人	2人	88人	133人

4/26-6/18 登学禁止による休館のため、在宅勤務

◇ LA 企画 (講習会)

7月29日 (木) 「ちょっと役立つ Word 講座」 参加 5人

8月11日 (水) 「大学生のための自己コントロールと自己管理の仕方」※ teams 参加 24人

11月18日 (木) 「大学生のためのメールマナー」※ teams 参加 3人



LA ミニ講習会 2021
大学生のための
自己コントロールと自己管理の仕方

開催日時
8月11日 (水) 15:30 ~ 16:00

開催場所
オンライン開催 (Teams) 以下のURLから参加
Microsoft Teams URL

内容
コロナの影響で在宅の時間が増えたと思います。その時間を資格勉強などに使おうと思ってもなかなか続かず、一日を無駄に過ごしてしまうことはないでしょうか。そこで、この講習会では本の紹介をもとに自己コントロールと自己管理の仕方や効果的なアプリの紹介をします。

LA ミニ講習会 2021
大学生のための
メールマナー

日時: 11月18日 14:00 ~ 14:30
場所: Teams
内容: 課題提出などで使える基本的なメールマナー

あなたのメール、本当に大丈夫?

◇図書館 LA ビブリオバトル☆

2年ぶりの開催となったビブリオバトルは、有志の発表者も加わり、発表者、参加者ともに本との出会いを楽しめる会になりました。

11月25日（木） チャンプ本『プリズン・ブック・クラブ』 アン・ウォームズリー著

12月10日（金） チャンプ本『変な家』 雨穴著



◇ LA 展示

LA が学部生に推薦する本を選び（25冊）、
おすすめコメントの POP をつけて展示しました。



◇パスファインダー

今年度は6つのパスファインダーを作成しました。

1. プログラミング（C言語）、2. 租税法、
3. APA Style 7th Edition 引用文献リスト作成、
4. 日本語での引用文献リスト作成、
5. データサイエンス、6. 気候変動とエネルギー

現在、26テーマのパスファインダーが公開されています。



(2) 国立大学図書館職員の能力向上

【発表】

- ・私立大学図書館協会東地区部会研究部 2021 年度研修会（10 月 25 日、オンライン開催）
Google フォームを使った新入生ガイダンスの作成 / 藤井亜希子

【参加】（全てオンライン開催）

- ・国立大学図書館協会総会研究集会「国立大学図書館協会ビジョン 2020 から 2025 へ」（6/25）
- ・大学図書館コンソーシアム連合「JUSTICE 電子資料契約実務研修会」（7/2）
- ・文部科学省科学技術・学術政策研究所講演会「大学における研究データポリシーの策定について」（11/2）
- ・国立情報学研究所フォーラム「機関リポジトリからみた管理・検索基盤」（11/9）
- ・国立情報学研究所フォーラム「学術機関による研究データのキュレーションサービスを考えよう」（11/10）
- ・日本医学図書館協会・日本薬学図書館協議会フォーラム「医薬生物学分野におけるプレプリントをめぐる動向」（11/11）
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会学術コミュニケーションセミナー「チャプターレベルのメタデータ流通」（11/17）
- ・国立大学図書館協会近畿地区「研究データポリシーの策定に向けて」（11/29）
- ・大学図書館近畿イニシアティブ / 基礎研修「初任者研修」（12/1）
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会学術コミュニケーションセミナー「研究データ管理・利活用と NII 研究データ基盤（NII Research Data Cloud）」（12/7）
- ・国立大学図書館協会近畿地区「図書館の防災を考える：実践的危機管理訓練の有用性」（1/25）
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会学術コミュニケーションセミナー「学術情報流通周辺話題」（1/25）
- ・国立国会図書館フォーラム「デジタル化及びデジタルアーカイブ構築の現状と未来」（2/9）
- ・国立大学図書館協会北海道地区「魅せるオンライン教材！デジタル時代のリテラシー教育」（2/10）
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会学術コミュニケーションセミナー「学術情報流通のオープン化をめぐる諸問題」（2/21）

4. その他の活動

(1) 学修支援

昨年に引き続き、ウェビナー形式による講習会を開催しました。

- ・電子ブック利用説明会 5月21日(金) 参加25人
- ・Web of Science 講習会 6月9日(水) 参加152人
- ・EndNote 講習会 参加42人
- ・日経テレコン講習会 6月23日(水) 参加16人

対面形式による講習会も1年ぶりに開催しました。

- ・レポート作成応援講座(対面) 7月12日(月):参加27人
- ・ミニ講座「レポートのための資料の探し方」(対面) 7月21日(水):参加4人
- ・レポートの書き方【実習編】 12/2(木)4限、12/6(月):参加2人、3人

(2) 古本募金

学生図書の充実に役立てるため、2018年1月に古本募金を開始しました。2021年度の実績は下記の通りです。収益により学生用図書を購入了ました。

- ・96,566円(古本募金箱及び直接申込10名)



(3) 除籍図書のリユース

古書店への売り払い、学内教職員への無料配布(リスト照会)後、館内で無料配布を行いました。

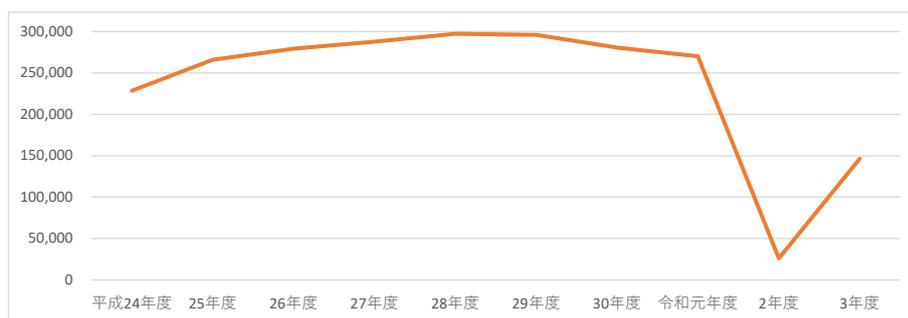
- ・期間 12月23日(木)-2月24日(木)



統計 2019-2022（令和元年 -3 年度）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
年間開館日数	合計	270	168	205
利用対象者数	学生	4,473	4,478	4,501
	教職員	847	863	849
	合計	5,320	5,341	5,350
入館者数	合計	270,322	26,127	146,522
	学外者（実数）	2,113	901	967
貸出冊数	学生	33,467	14,571	23,393
	教職員	5,793	4,921	5,841
	学外者	2,582	820	1,286
	合計	41,842	20,312	30,520
蔵書冊数	和漢書	511,509	500,579	496,727
	洋書	202,187	197,184	198,343
	合計	713,696	697,763	695,070
図書受入冊数	和漢書	6,183	6,227	5,266
	洋書	1,056	568	583
	合計	7,239	6,795	5,849
雑誌所蔵種数	和雑誌	4,850	4,892	4,894
	洋雑誌	2,282	2,284	2,284
	合計	7,132	7,176	7,178
雑誌受入種数	和雑誌	794	775	766
	洋雑誌	33	29	23
	合計	827	804	789
文献複写件数	受付	761	970	895
	国内依頼	692	723	663
	海外依頼	0	0	0
現物貸借件数	貸出	338	443	584
	借受	103	135	164

入館者数の推移





和歌山大学図書館年報 2021 / 2022

2022 (令和4年) 8月発行

発行/和歌山大学クロスカル教育機構学術情報センター図書館

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷 930 番地 TEL 073-457-7915